

公益社団法人

大木町シルバー人材センター広報

すずなり  
suzunari

10周年記念  
創刊号

平成27年4月発行

(表紙写真:大藪三島神社)

【特集】祝! 設立10周年  
大木町シルバー人材センター



イベントのお知らせ

大木町シルバー人材センター

入会説明会 4/20<sup>日</sup>に来てみませんか?

場所: 役場西別館2階 集会室 時間: 13時30分~



大木町シルバー人材センター  
イメージキャラクター **みのりちゃん**

ご挨拶〈10周年の節目を迎えて〉



公益社団法人 大木町シルバー人材センター  
理事長

山口 博

企業、大木町民の皆様のお力添えがあったお蔭だと改めまして感謝と御礼を申し上げます。

さて、大木町シルバー人材センターは平成17年4月1日会員数167人にて発足いたしました。その後順調に発展をつけ、平成22年には会員数193名まで増えましたが、定年延長制度が定着したこと、景気の低迷が続いたためここ数年は減少傾向にありました。平成26年末では、180名の方が会員登録されており、

高齢化が進んでいく中、国は「生涯現役社会の実現」といった目標を掲げ、70歳現役という言葉が普通に使われるようになり、

この中で「シルバー人材センターは全国各地に広く設置されており、就労を希望する高齢者に就業機会を提供する役割を担っている。」としてその存在の重要性を認めているところであり、去る2月12日の国会の中でも安倍首相は、「柔軟かつ多様な働き方」の中で「高齢者の皆さんに、多様な就業機会を提供する。シルバー人材センターにはさらにその機能を発揮してもらいま

す。」と演説されました。団塊世代の方たち

も既に65歳を超えられ、今後ますます高齢化が進んでいく中、「福祉の受け手から、福祉の担い手へ」という厚生労働省の期待も

ございます。大木町では他の市町村より高齢化率は低いものの、農業に従事されている方は、ほとんど高齢者で、農業支援についても重要課題として取り組まなければなりません。これまで培った経験や技能を生かした就業だけでなく、未経験の分野にもチャレンジする必要があります。「自主・自立・共働・共助」の理念のもと会員が積極的に事業に参加し、就業及びボランティア活動を通じて、地域社会と共生するシルバー人材センターを目指すことが肝要であります。そのためにも、会員の拡大とあわせて、地域住民の多様なニーズにえられる就業体制を作らなければなりません。

今後とも会員皆様のご理解ご協力と、町当局をはじめ事業所並びに地域住民皆様の一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。記念誌発行にあたりご挨拶といたします。



大木町長  
石川 潤一

町への更なる貢献と、今後の発展を期待しています。

この度、大木町シルバー人材センターが設立10周年を迎えられることとなり、誠に御めでとございます。

大木町シルバー人材センターは、平成17年2月に旧三瀨郡三瀨町、同じく城島町が久留米市と合併したことに伴い、それまで旧三瀨郡三町で設立されていた三瀨地区シルバー人材センターが解散したことから、大木町地域における事業と会員を引き継ぐものとして平成17年4月に設立されました。また、平成24年には公益社団法人へ移行するなど組織体制の充実が図られてきました。その間、理事長をはじめ会員、職員など関係者の皆様の地道な努力に対し、深く敬意を表する次第です。

さて、わが国を取り巻く経済情勢は、リーマンショック以降厳しい状況にあり、いわゆる「アベノミクス効果」による景気回復傾向もみられますが、地方経済には十分行き渡っていないものと認識しています。また、一方では、急速な少子高齢化の進行に伴い、生産人口が減少していく中、高齢者の生き

地域社会と共生する  
交流・チャレンジの拠点へ。

当シルバー人材センターは、平成4年に三瀨郡三町で設立されていた三瀨地区シルバー人材センターが市町村合併により解散、平成17年4月に社団法人大木町シルバー人材センターとして発足してから、設立10周年を迎えることができました。

その後、平成18年6月に公益法人制度の抜本的な見直しが行われ、当センターも法に則り、平成24年3月に認定を受け、「公益社団法人大木町シルバー人材センター」として法人登記をしたところでございます。これも偏に、前理事長をはじめ、歴代の役員、会員の皆様、事務局をはじめ、大木町、地元

がいや社会参加のための対策も重要となっております。

このような状況の中、本町のシルバー人材センターにつきましては、町内全域の家庭から排出される生ゴミの回収及び「おおき循環センターくるるん」への搬入やひとり暮らしの高齢者などへの安否確認を兼ねた「ごみ出しサポート事業」を担っていただくなど資源循環型まちづくりの取組において大きな役割を果たしていただくとともに、子どもたちへ昔の遊びや知恵を伝承する人材を育成する「子育て支援人材バンク事業」も担っていただくなど、本町における各般の施策の推進において多大な貢献を果たしていただいております。

また、本町の基幹産業である農業分野においても、イチゴやキノコの生産における貴重な人材の供給源となっていたなど、産地の維持・発展に必要な不可欠な役割を担っていただいております。

このように、今や本町にとってなくてはならない存在となっているシルバー人材センターにおきましては、今後とも、会員の拡大や多様な就労の場の確保に向けた取組みを継続していただき、来たるべき高齢化社会におけるまちづくりの担い手としての役割を十分に発揮していただきたいと期待しております。

結びに、大木町シルバー人材センターの今後益々のご発展及び関係者の御健勝を祈念申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。



公益社団法人  
大木町シルバー人材センター  
初代理事長  
松枝 功

大木町助役を拝命し、理事として旧三瀧地区シルバー人材センターの理事会に出席したのは平成16年8月、そこで協議されたのが、着々と進む久留米市シルバー人材センターとの統合に対し、大木町の事業をどうするかということでした。その4日後、大木町シルバー人材センター設立準備委員会が立ち上げられ、法人設立に向け、県や町等関係機関との協議が急ピッチで進められていきました。町単独での社団法人設立は、財源等多くの課題がありました。注者のご理解とご支援により、無事に設立を果たし、初年度に国庫補助団体となることもできました。一時は設立も危ぶまれたセンターが、こうして10周年を迎えることができましたことは非常に感慨深く、改めて支えていただいた皆様にお礼を申し上げます。



公益社団法人  
大木町シルバー人材センター  
初代事務局長  
水落 愷

シルバー事業に関する経験も知識もなく、会員の方々の職員の支えを受けてのスタートでした。資金不足から最初の配分金支払いに苦慮したことを忘れません。幸いに町当局のご配慮と事業所各位の支援で支払いが出来ましたが、初年度3月に国庫補助団体になるまで、財政面での心配は尽きませんでした。一方事業では、就業現場の環境や実態を知ることから始め、長期就業の解消、安全・適正就業、派遣事業の協議を会員や事業主と進めていきました。思い出は、枚挙にいとまがありません。

今、センターには「安全就業実施中」と「地域で活躍するシルバー」の二つの旗がなびいています。安全第一を旨として、会員各位の活躍とご健勝、自主・自立、共働・共助の理念を基に、センターの益々の発展を祈念します。



公益社団法人  
大木町シルバー人材センター  
前事務局長  
中ノ森 賢二

公益社団法人大木町シルバー人材センターの設立10周年誠にありがとうございます。私は、当大木町シルバー人材センターの事務局長を平成21年度から5年間勤めさせていただきました。

在任中は、適正就業の推進、派遣事業への取り組み、そして一般社団法人から公益社団法人への移行など、山積する諸問題解決のため、否応無しに対応しなければならぬ状況下に置かれていました。

推進過程で、お客様や会員の皆様と激論を交わし、熱くなつたこともありましたが、新制度への移行等についてご理解を賜り前進させることができましたことは、私にとつて一生忘れることのできない事柄となりました。

結びに、大木町シルバー人材センターの益々のご発展と会員皆様方のご健勝をご祈念申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

## 主な活動

大木町シルバー人材センター



町の「夏休み子ども一日預かり事業」参加



校区別奉仕活動



町より「高齢者等ごみ出しサポート事業」受託



安全就業促進大会開催

# 10周年に寄せて

発注者



農事組合法人きのこの里  
総務部長

眞崎 萬次

## 大木町の 農業振興に貢献

10年前、旧三瀨郡から大木町単独での組織変更となり、当時不安を感じておりましたが、町の支援と大木町助役であった松枝功さん（前理事長）をはじめ、旧センターからの役員の方々の尽力により、社団法人として出発しました。以前からのお付き合いがありました。が、町単独となり、より身近に感じられるようになりました。農業への就業についてはそれぞれ農家から感謝の声が聞こえてきます。農繁期等、人手がほしいときには大助かりで、安心して経営拡大ができております。今後も大木町の基幹産業である農業が会員の皆様のご協力を得て、シルバー人材センターと共に発展できることを期待します。

会員



公益社団法人  
大木町シルバー人材センター  
大溝校区

田中 節美

## 60歳からの チャレンジ。

入会して9年目になります。理事を6年間させていただいたことは、私の人生に大変プラスになりました。理事会では、シルバーの運営や会員が安全に働けるよう、様々な議題が協議され、公益社団法人にもなりました。PRのためにスピーカーでちらしを配ったり、家事援助や農作業の班長になったり、声がかかれば何でも挑戦しようと思うようになりました。初めて総会の司会をしたときは、新しい自分に会えた様な気がしました。戸惑うこともたくさんありましたが、いろんな方の助けを借りながら楽しく仕事をする事が出来ました。これから20周年に向けて頑張りたいと思います。

会員



公益社団法人  
大木町シルバー人材センター  
木佐木校区

熊丸 富雄

## 健康で 働く喜びを実感。

私は、現在小学校で校務の仕事をしております。現役時代の仕事とは全く違いますが、目的の仕事をやりたい時には、今までは違った爽快な気分を味わえます。特に夏は汗だくで足腰の鍛錬にもなり、とても健康的です。又、仕事以外では会員旅行等もあり知人も増え、これこそ本当の意味での良い田舎暮らしではないかと、趣味を交えて日々を暮しております。元気に仕事ができることは最高の幸せであり、現役時代とは違った仕事もやってみる価値ありと思っております。「よし自分も」と思われる方、一緒に爽やかな汗を流して働きましょう。すべては自分自身のために。

会員



公益社団法人  
大木町シルバー人材センター  
大荒校区

野口 絹子

## 10年間の思い出。

会社の定年が65歳と安心していると「不景気だから60歳まで」と言われ、ショックを受けました。そういうときに、近所の人からシルバーの事を聞き、私にできるだろうかと不安でしたが、第二の人生の始まりだと思えばシルバーに入りました。最初にしたのはいちごの収穫作業で、先輩方に教えてもらいながら、いちごを傷をつけないよう気持ちを集中してしたのを覚えています。この10年、いちごだけでなく、いろんな仕事をしてきました。今も「今日も一日がんばろう」と就業先まで、自転車をお急ぎします。シルバーの仕事があつて、本当に良かったです。

## 大木町シルバー人材センター 歴代理事一覽

### 【理事長】

- 任期…平成17年～24年度  
松枝 功
- 任期…平成25年度～  
山口 博
- \*平成24年度 副理事長就任
- \*平成20年度 大溝地区理事就任

### 【副理事長】

- 任期…平成25年度～  
川元 嘉晴
- \*平成20年度 大荒地区理事就任

### 【常務理事】

- 任期…平成17年～20年度  
水落 恒
- 任期…平成21年～25年度  
中ノ森 賢一
- 任期…平成26年度～  
猿渡 知子

### 【大溝地区理事】

- 任期…平成17年度  
中島 保善
- 任期…平成17年度  
豊田 規子
- 任期…平成17年～19年度  
大坪 俊實
- 任期…平成18年～19年度  
田中 トヨ子
- 任期…平成18年～23年度  
田中 克己
- 任期…平成20年～25年度  
田中 節美

### 【木佐木地区理事】

- 任期…平成17年度  
牟田口 均
- 任期…平成17年～19年度  
岡崎 賢一
- 任期…平成17年～21年度  
家中 千富
- 任期…平成18年～19年度  
川村 豊
- 任期…平成25年度～  
岡崎 富雄
- 任期…平成25年度～  
岩石 宏之
- 任期…平成26年度～  
福田 君江

# 2015

# 大木町シルバー人材センター 10年のあゆみ



おかげさまで  
10周年!



◎設立10周年・広報「すずなり」創刊  
◎独自事業・農業支援人材育成事業「大木みのりの学校」開始

2014

◎事務局長交代・おおきエゴたわしの会発足  
◎安全就業月間特別安全パトロール実施

2013

◎理事長交代・事務局正規職員採用(2名体制へ)

2012

◎公益社団法人認定  
◎町より「高齢者等ごみ出しサポート事業」「夏休み子どもの居場所づくり事業」受託開始  
◎ホームページ公開

2011

◎シルバー人材センター派遣事業開始  
◎安全就業促進大会開催(以降毎年開催)  
◎大木町シルバー人材センター会員互助会発足

2010

◎校区別奉仕活動開催(以降毎年開催)  
◎町より「子育て支援人材バンク事業」受託開始

2009

◎事務局長交代  
◎シルバー人材センターが行う  
一般労働者派遣事業届出

2008

◎事務所拡張  
◎町の男女共同参画事業  
「チャレンジ模擬議会」参加

2007

◎校区別懇談会開催(以降毎年開催)  
◎町の「夏休み子ども日預かり事業」参加(以降毎年参加)  
◎会員交流グラウンドゴルフ大会開催(以降毎年開催)

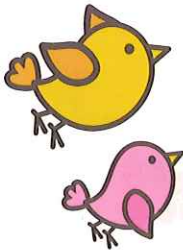
2006

◎おおき循環センター  
生ごみ回収業務受託開始

2005

社団法人  
大木町シルバー  
人材センター設立

平成24年度から  
会員以外も参加可の  
町民交流  
グラウンドゴルフ大会  
として開催



- 杉 峯夫  
任期..平成20年~25年度
- 古賀 俊男  
任期..平成22年度~
- 川村 芳美  
任期..平成24年~25年度
- 熊丸 洋右  
任期..平成26年度~
- 的場 敏幸  
任期..平成26年度~
- 石崎 允啓  
任期..平成26年度~
- 〔大箕地区理事〕  
任期..平成17年度  
猪口 直人  
任期..平成17年~19年度  
野口 則男  
任期..平成18年~19年度  
松永 英子  
任期..平成20年~21年度  
松葉 萬藏  
\*平成18年~19年度 会員監事就任  
眞邊 泰則  
任期..平成22年度  
松永 秀樹  
任期..平成23年~24年度  
中島 教晶  
任期..平成25年度~
- 〔町理事〕  
任期..平成19年~21年度  
高山 史子  
任期..平成22年度~  
池口 活友  
\*平成21年度 町監事就任
- 〔会員監事〕  
任期..平成17年度  
堀田 省二  
任期..平成20年~23年度  
久良木 正道  
任期..平成24年度~  
中村 洋康
- 〔町監事〕  
任期..平成17年~20年度  
馬場 常次  
任期..平成22年~23年度  
井上 勝己  
任期..平成24年~25年度  
田中 勝則  
任期..平成26年度~  
石川 勉

## チャレンジ模擬議会



平成20年11月 4名の会員が模擬議員となり、「生ごみリサイクル」「農業支援」について町長に質問。緊張がとけた終了後には、石川町長、高山副町長(当時)を囲んで模擬議会メンバー全員笑顔で記念撮影。



# 大木町シルバー人材センター 写真館

大木町シルバー人材センターの会員は、仕事はもちろんのこと、会員交流活動や地域貢献活動にも積極的に参加しています。センター設立以来、私たちがこれまでに取り組んできた様々な活動をご覧ください。



平成21年11月 会員日帰り交流旅行で訪ねた伊藤伝右衛門邸(飯塚市)。



平成22年8月 女性会員の集いでメイクアップ講習。このあと、参加者は見違えるほど?きれいになりました。



平成27年3月 町民交流グラウンドゴルフ大会。競技のあとの福引大会も盛り上がりました。



平成18年3月 大川市シルバー人材センターの会員さんを講師に招いての障子張り講習会



平成19年9月 農作業いちご講習会で“腰痛予防ストレッチ”。



平成26年9月 大木町議会同文教厚生委員会との意見交換会では、委員会の皆様からエールをいただきました。



平成20年11月 清掃講習会。床の掃き方をチェック中。みんなに見守られて思わず緊張。



平成27年1月 今年の女性会員の集いは子育て支援の先進地、(公社)筑紫野市シルバー人材センターを訪問しました。帰りは太宰府天満宮でお参り&お茶をしながら作戦会議、「私たちもっと頑張らやんね」とやる気まんまん。



平成19年3月 植木剪定講習会。  
ベテランの会員も技術向上のため毎年、  
造園業の方から指導を受けています。



平成20年10月 さるこいフェスタで展示する  
“安全就業シルバーかかし”を製作



平成20年12月  
水道メーター検針機器導入のための  
機器操作研修会



平成23年9月 月1回昔遊びを指導している  
木佐木学童保育所の子どもたちから届けられた  
ありがとうの言葉。これが私たちの原動力です。



平成22年10月 多世代交流・子育て  
応援委員会で福岡県和ごま競技普及  
協会(太宰府市)の活動を見学しました。



平成22年11月 大木まつりでのこま回し  
大会。たくさん子どもたちが集まって  
くれました。



平成26年11月 月例の安全パトロールで  
みかん収穫作業の現場を訪問。安全対策員  
の皆さんから就業会員さんへ聴き取りは、  
体調の確認から始まります。



平成19年7月 この年に始まった校区别懇談会、時期や  
会場等試行錯誤を繰り返して、現在は2月に校区コミセン  
(木佐木校区はシルバー2階)での開催になりました。



平成23年12月 毎年恒例のしめ縄づくり  
指導者養成講座。今では受講生のほとんど  
が子ども向けミニしめ縄づくりの先生に  
なりました。



平成18年11月 大木町シルバー人材  
センターになって初めての会員交流旅行は  
日帰りで脇田温泉(宮若市)に行きました。



今後も地域の皆様に「大木町にシルバーがあっただけよかった」と言ってもらえるよう会員・役職員ともに力をあわせがんばってまいります。

3列目左から 荒巻幸大職員、甲斐田梓職員、古賀喜巳子職員、中村洋康監事

2列目左から 岩石宏之理事、大津保職員、石崎允啓理事、岡崎富雄理事、的場敏幸理事、石川勉監事(大木町役場会計課長)

1列目左から 中島教晶理事、猿渡知子常務理事兼事務局長、山口博理事長、川元嘉晴副理事長、池口活友理事(大木町役場福祉課長)、川村芳美理事  
※欠席 福田君江理事

## 会員募集

シルバー人材センターを通して  
あなたの力を発揮しませんか？

シルバー人材センターは仕事を通じ  
地域社会に貢献する団体です。

(公社)大木町シルバー人材センターは、働く意欲のある60歳以上の方を会員として自治体や企業、家庭などから臨時的・短期的な仕事を受注し会員に提供しています。つまりセンターは、地域社会の「手伝ってほしい」という声と、会員の「誰かの役に立ちたい」気持ちをつなげる架け橋です。現在の会員は180人(3月末現在)。それぞれがもてる力を発揮し、頼りにされる“生きがい”や“喜び”を得ています。

### メリットたくさん!

- ◎仕事内容は多様で選べます!
- ◎配分金が支払われます!
- ◎仲間や友人が増えます!
- ◎新しい技能や知識が学べます!
- ◎職業紹介や派遣事業もあります!



雇用を目的とする人材派遣とは異なります。

公益社団法人

# 大木町シルバー人材センター

〒830-0416 三潁郡大木町大字八町牟田 255 番地 7

TEL 0944-33-2207

FAX 0944-33-2225

### 編集後記

市町村合併に伴うシルバー人材センターの統合が進み、会員500人規模のセンターが次々に誕生していく中、分離して新しく法人を立ち上げるというのは全国的に見ても珍しいケースでした。臨時職員も含めて3人という県内でも最少の事務局体制で出発して10年、やっと念願であった広報を創刊することができました。シルバーがたくさん笑顔の集まる場所になるよう「広報すずなり」と命名しました。次号は7月に発行予定、また、会員の皆さんのいきいきとした姿をお届けします。(猿渡)